

# 地域経済を賑耕する エコノミックガーデニング

拓殖大学政経学部 教授

山本尚史

# 講演のポイント

- 地方都市が直面する人口変動
- 望ましい未来への地域経済デザイン
  - 地元企業の経営変革
  - 中小企業振興基本条例
  - エコノミックガーデニング
- 新しい連携を模索

# 地方都市が直面する人口変動

# 過去30年間の地方衰退の原因

- 所得（と特別剰余価値）を得る機会の喪失
- 地元企業が得ていた利益を地域外企業が得るようになり利益が地元から流出
  - 郊外に大型ショッピングセンター
  - バイパス沿いに衣料品店、ドラッグストア、大型家電量販店
- 建設業の規模縮小や廃業
- 小規模事業者（自営業者）の廃業

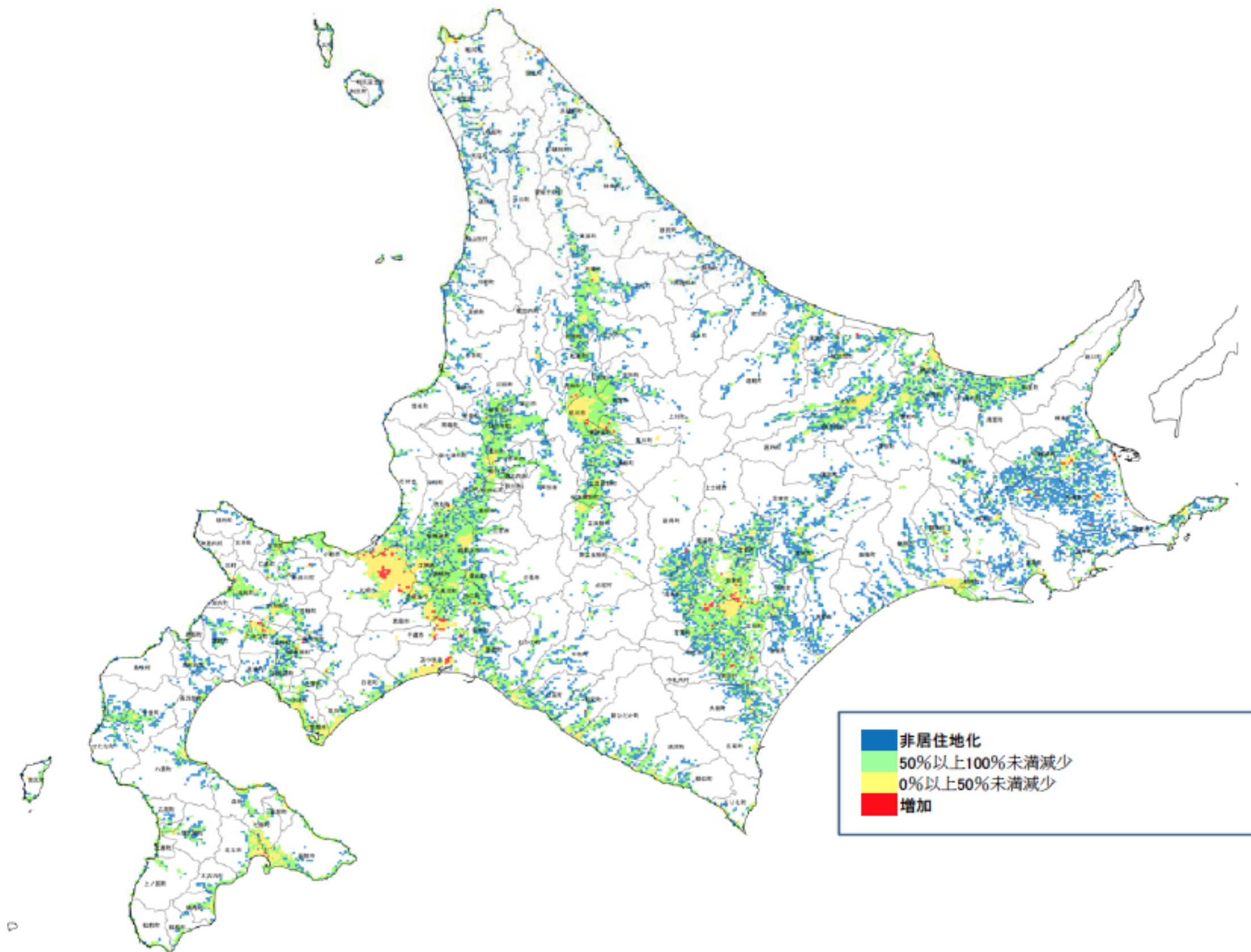
# タイムリミットが迫る

- 2050年に向けた未来シナリオとして **都市集中型**と**地方分散型**がある
  - 2025～2027年に **都市集中型**と**地方分散型**が分岐する
  - **地方分散型**の場合は 2034～2037年に 持続可能シナリオと**持続不可能シナリオ**が分岐する
- 持続可能な地方分散の実現には **地方税収**、**地域内エネルギー自給率**、**地方雇用**などについて **経済循環を高める必要がある**

京大と日立グループとの共同研究 2017

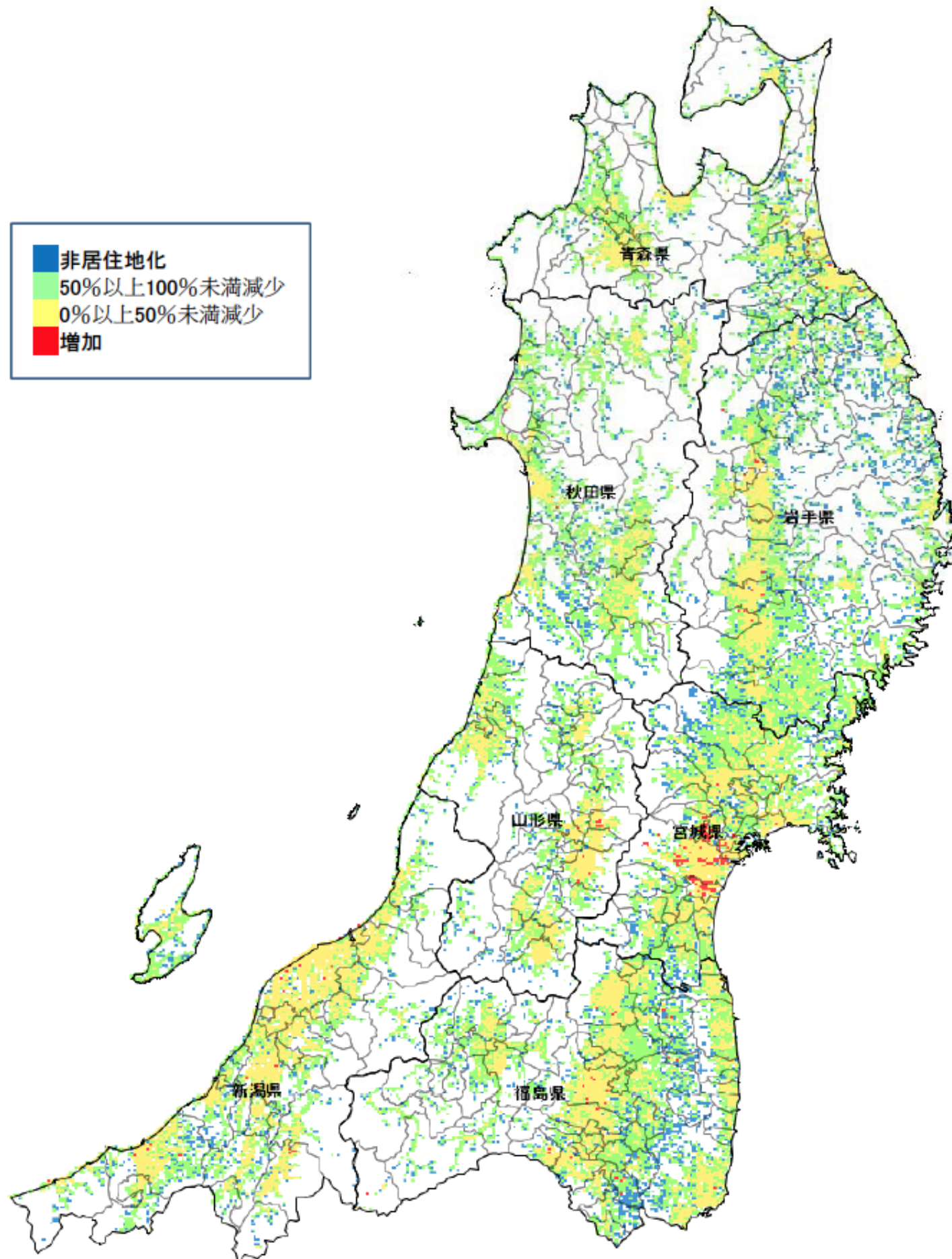
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/09/0905.pdf>

# 【北海道】2050年の人口増減状況(2010年との比較)



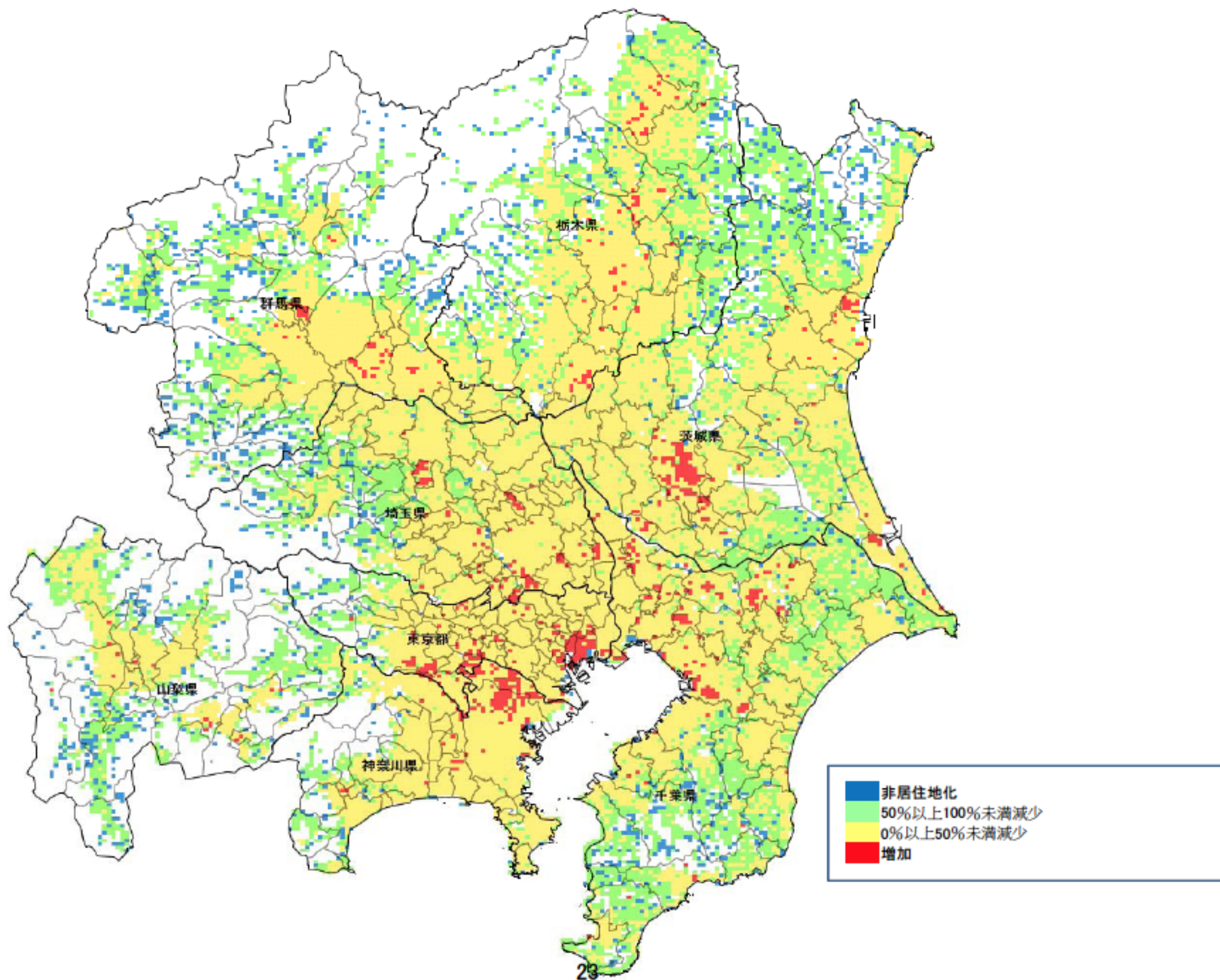


# 【東北圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)



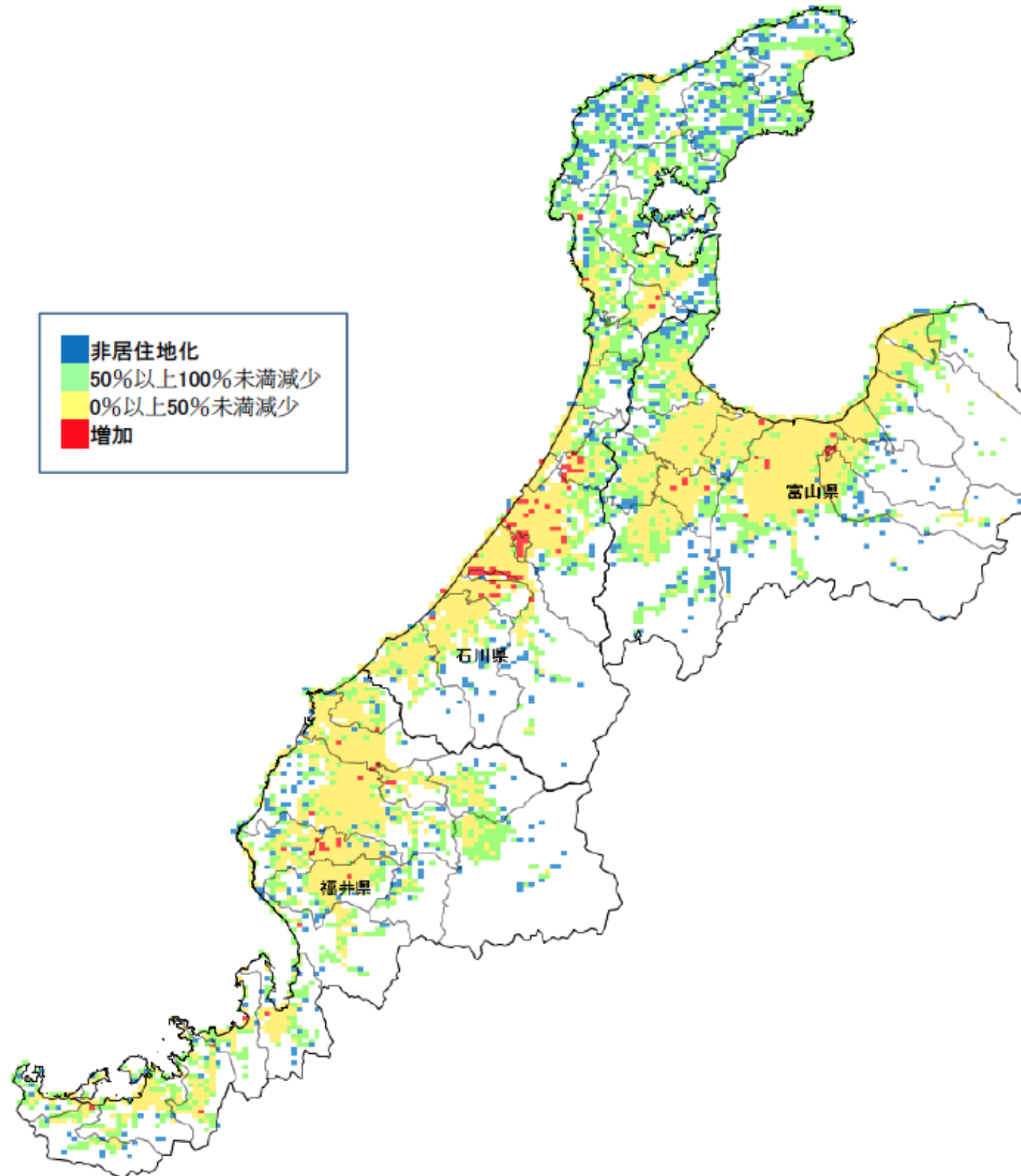


# 【首都圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)

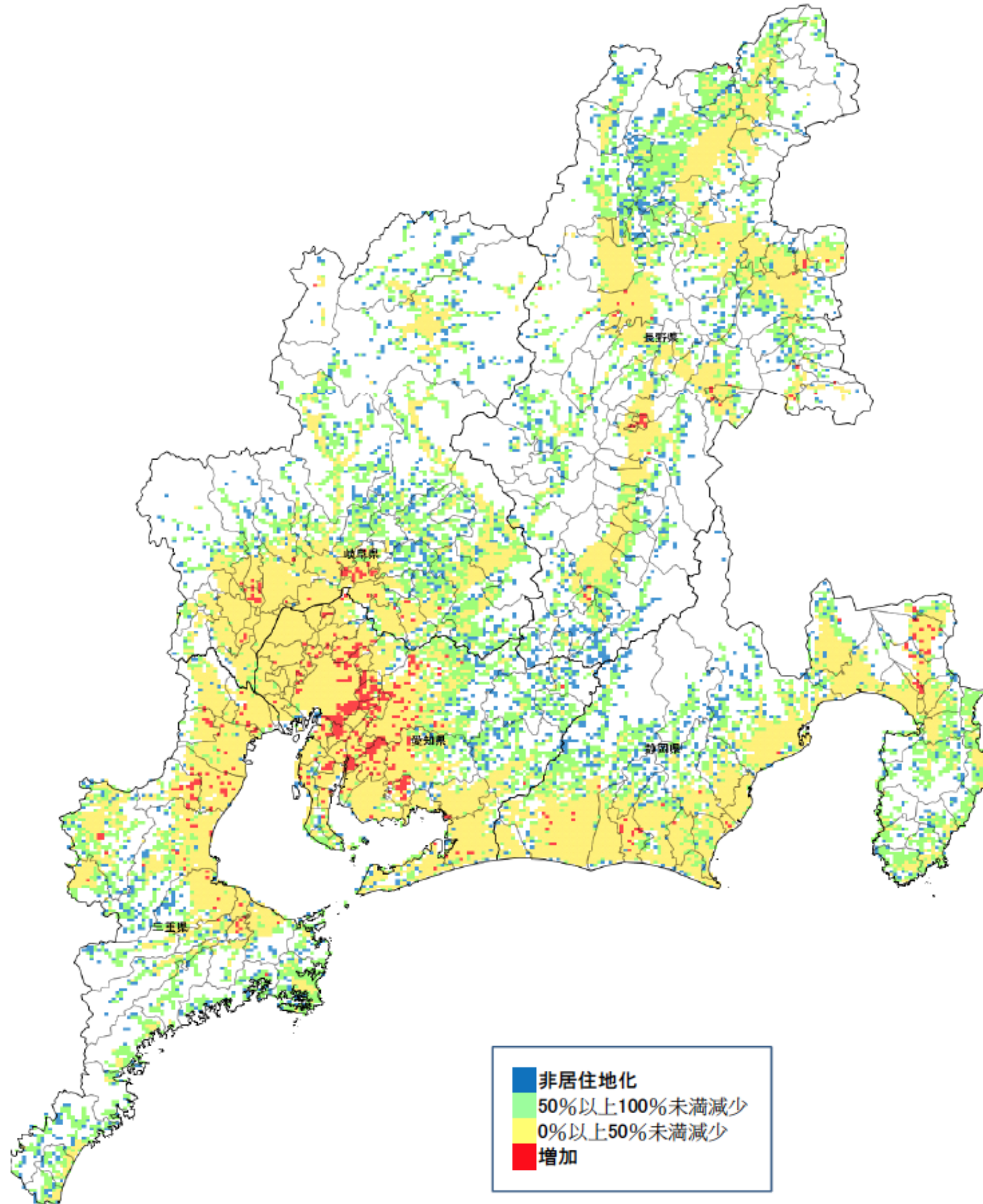




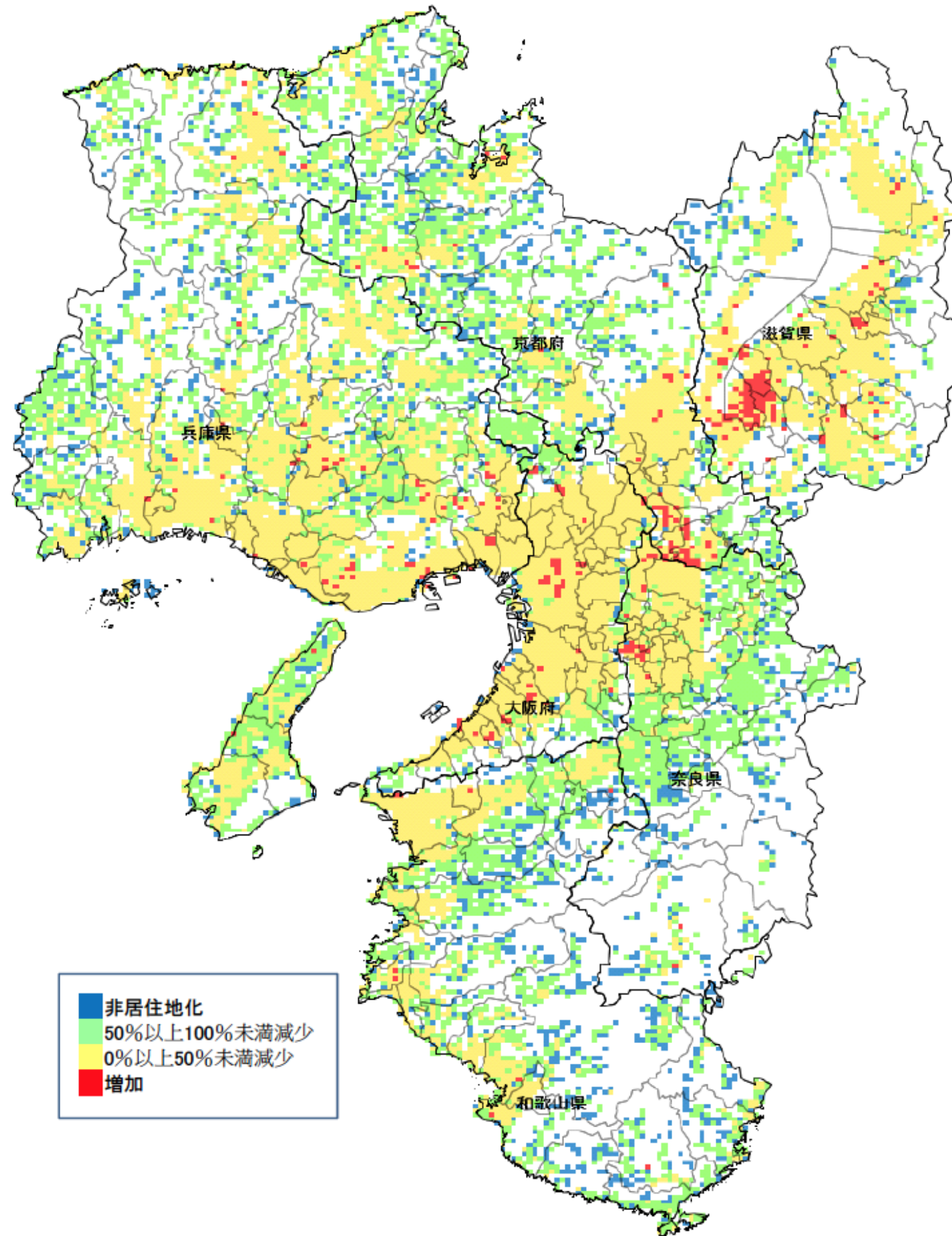
# 【北陸圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)



# 【中部圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)

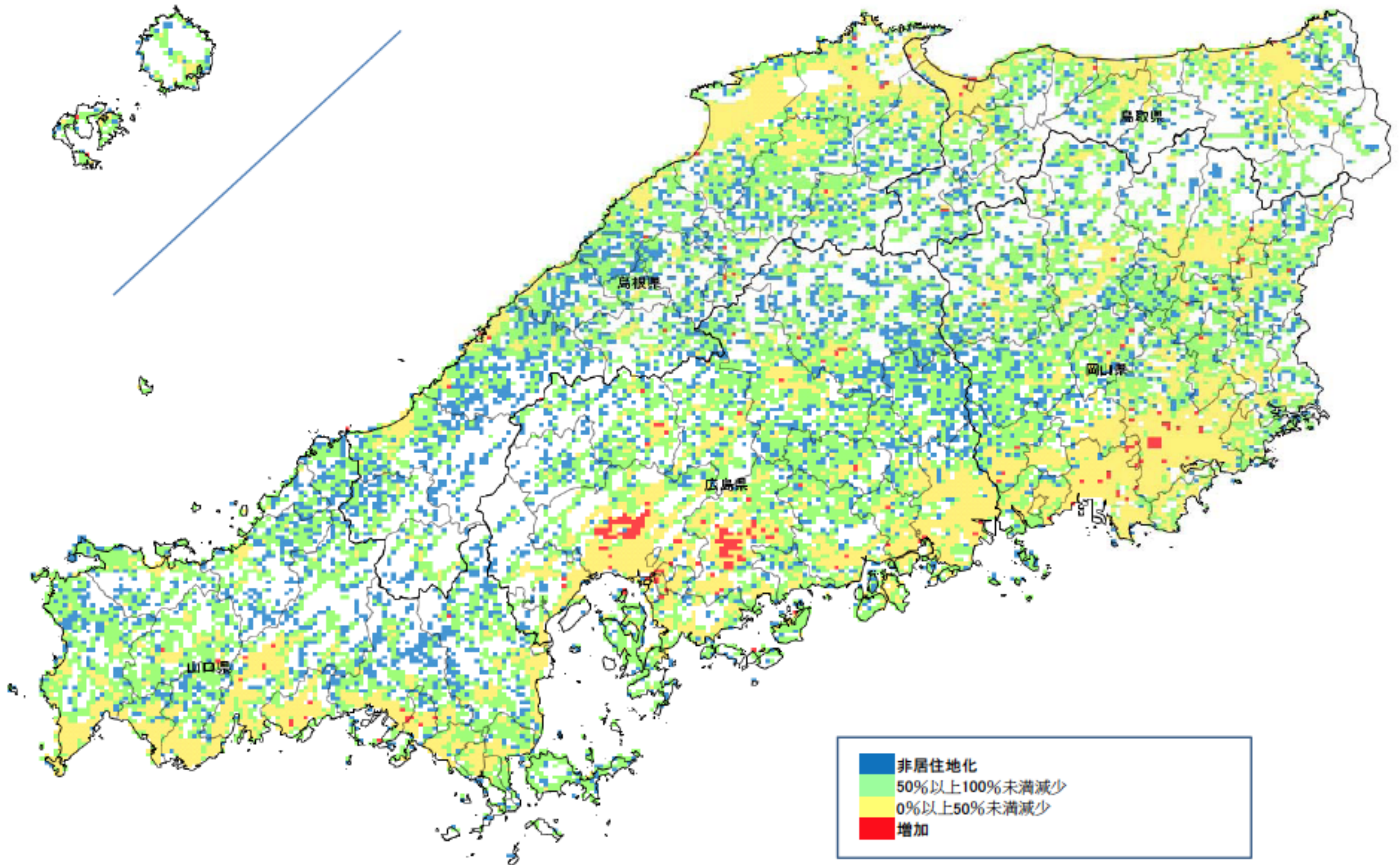


# 【近畿圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)



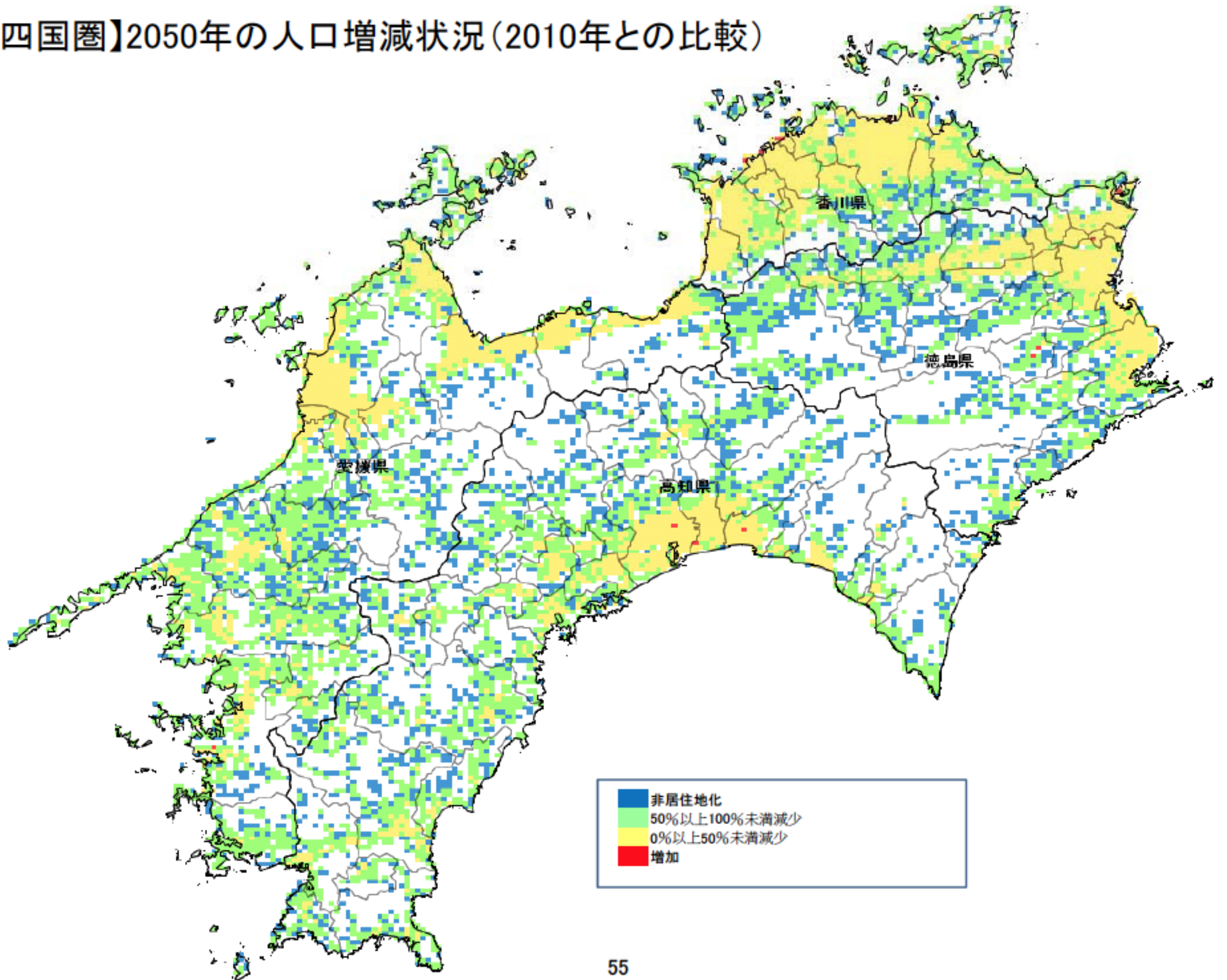


# 【中国圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)

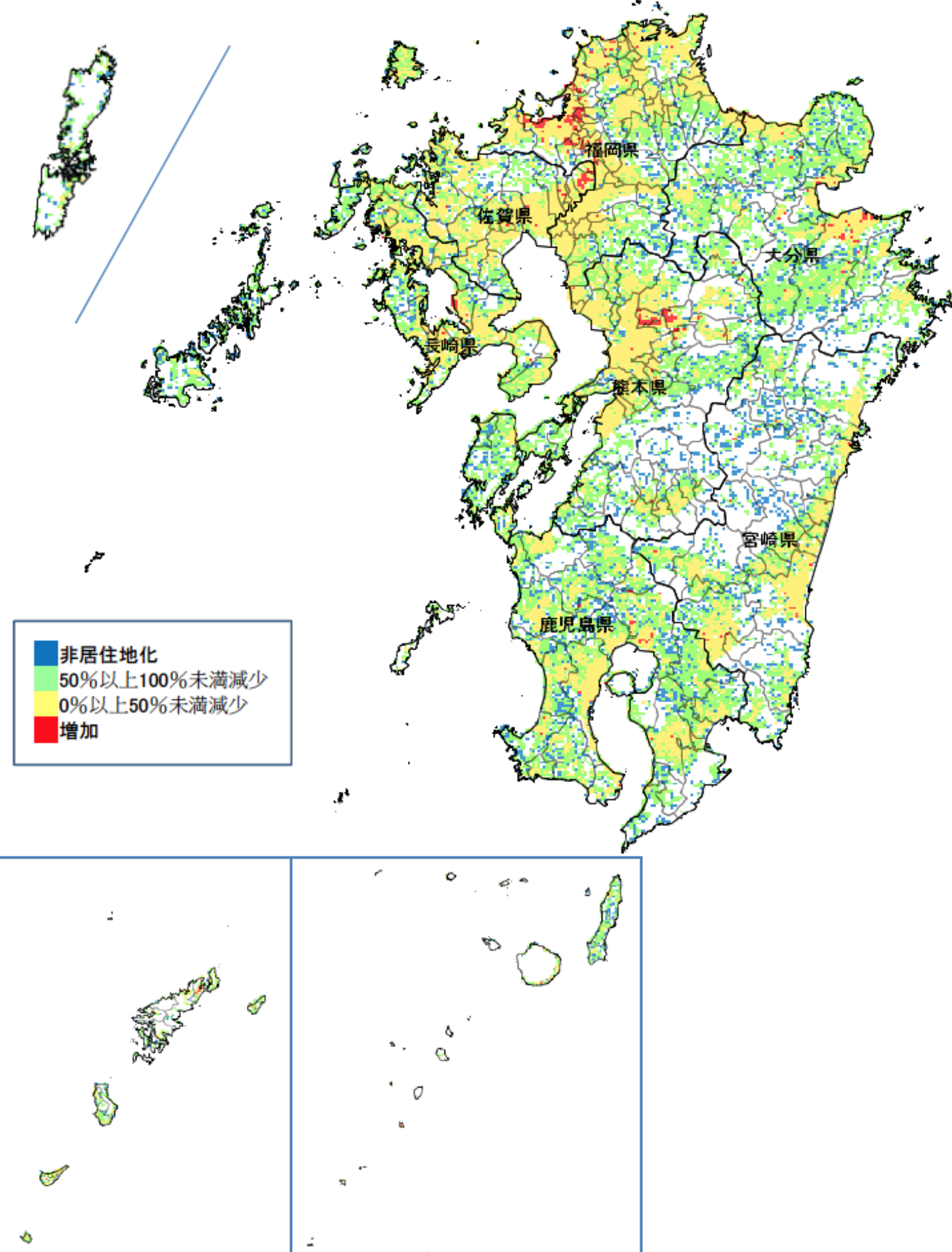




# 【四国圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)

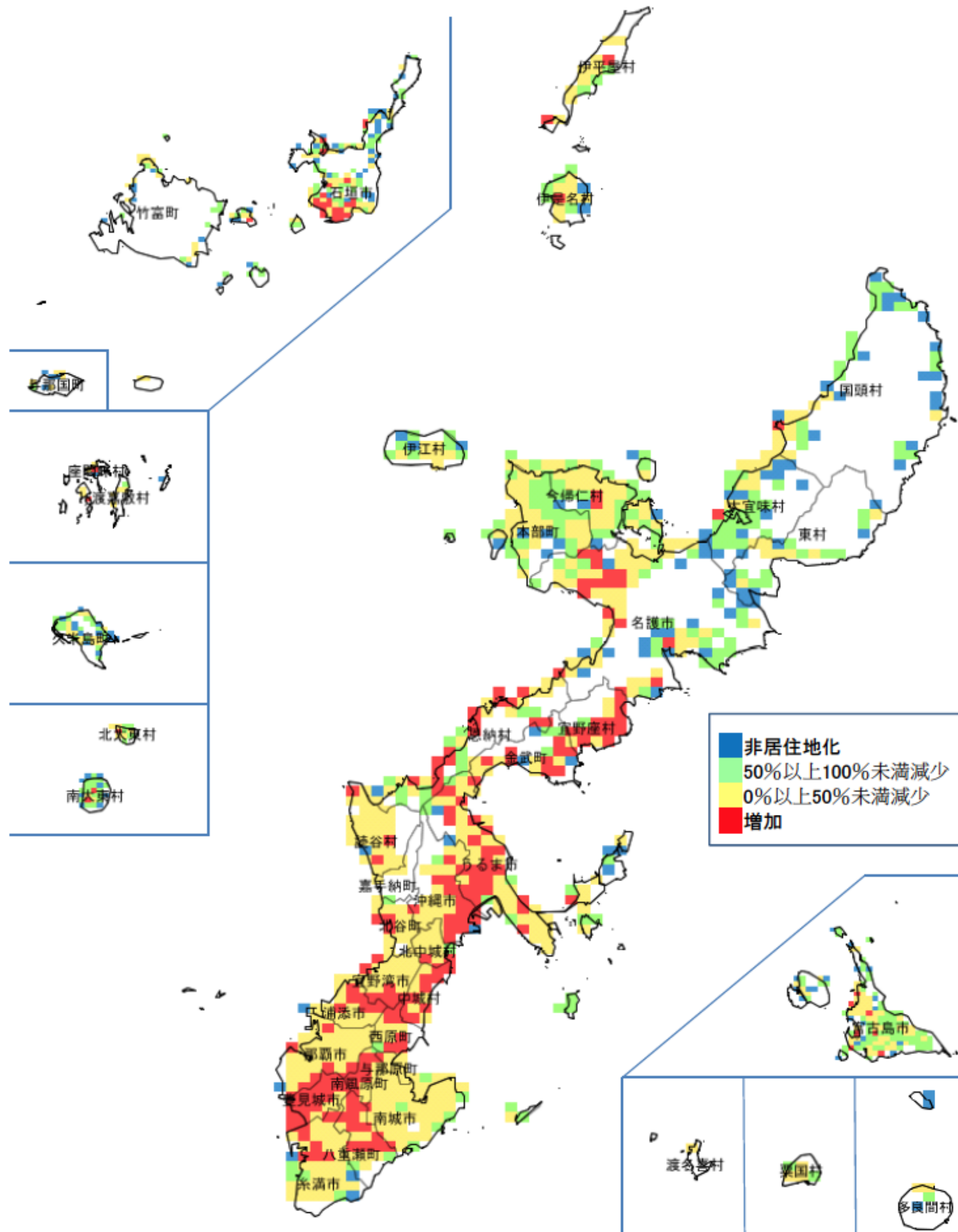


# 【九州圏】2050年の人口増減状況(2010年との比較)





# 【沖縄県】2050年の人口増減状況(2010年との比較)



どうする地方経済



# 企業誘致（工場誘致）で起死回生？

- **労働供給の変化**

供給過剰 → 即戦力人材の供給不足

地元の実業高校の卒業生 → 中高年齢層と女性

- **企業が求める土地用途の変化**

労働集約的な製造業の生産工場

→ 配送センター データセンター 無人工場

- **企業の経営戦略の変化**

終身雇用と年功序列賃金

→ 短期的コスト管理 非正規労働者の期間雇用

# 観光客誘致で繁栄できる？

- **観光客の誘致はリスクが大きい**

地元の努力とは無関係な要素で左右される

(為替相場、災害、感染症、聖地のブーム、など)

- **利益配分が偏る**

地元の観光事業者が大手観光事業者の下請に

ニッチな観光事業は雇用創出効果が低い

- **観光地どうしの競争**

「風光明媚、伝統文化、よい食材」だけでは勝てない

その土地独自の価値を買ってもらうには？

# 地元企業支援はこのままで大丈夫？

- 行政による支援の取り組み方に難がある
  - 新しい仕組みを創ろうとしていない
    - 支援センターをつくって丸投げ
  - 民間団体と協働することを考えていない
  - 政治判断で予算措置と人事異動が決まる
- 地元企業が補助金事業をあてにしている
- 議員や市民が企業支援の成果に無関心である

# 地域経済デザイン



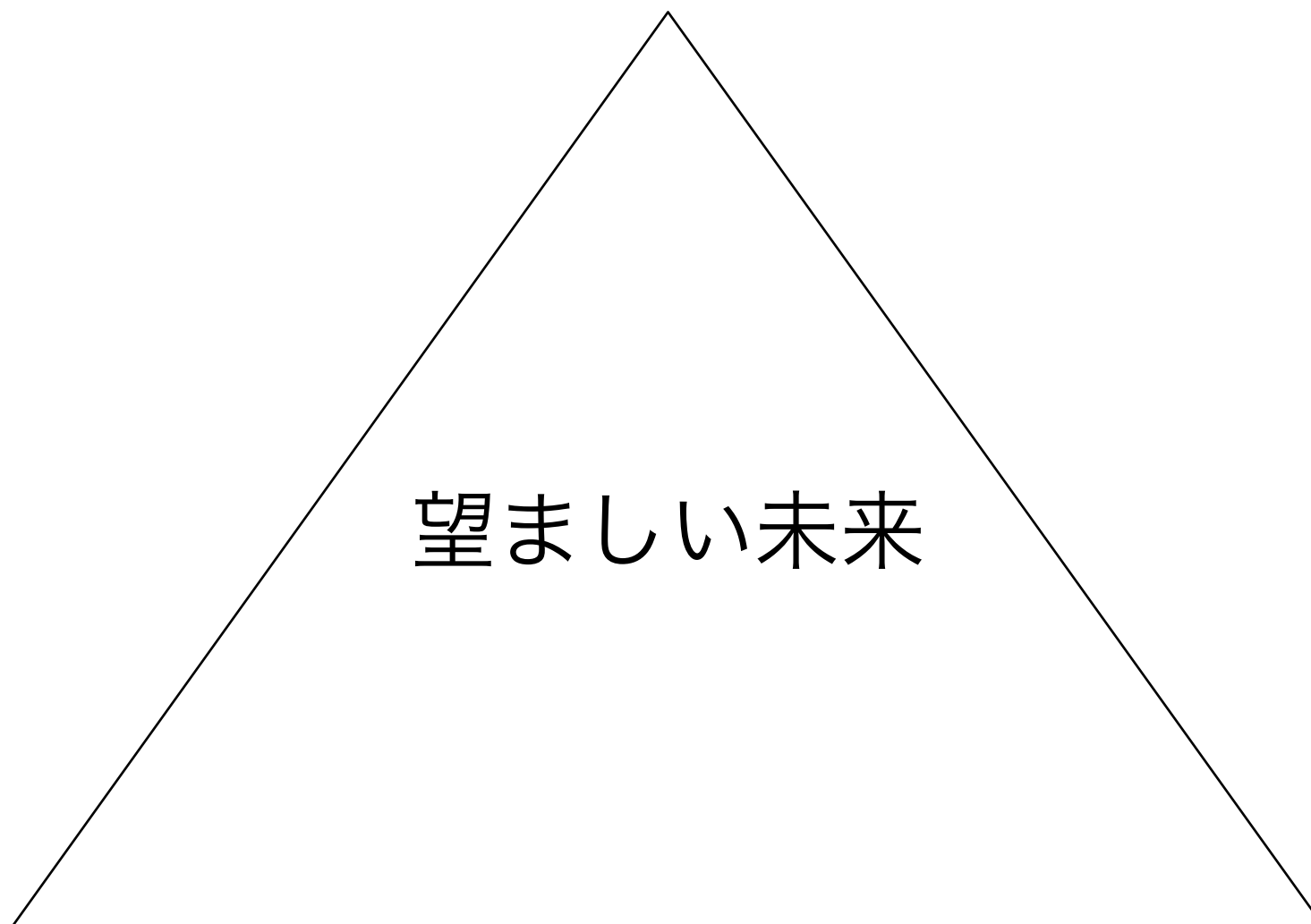
地域経済生態系を進化させる

ネットワークとルールの再構築

地元中小企業のエンパワメント

「自分で選択して決定する権限が手に入る」

# 経営変革



中小企業振興基本条例

政策実施枠組  
+ エコミックガートニング

# 中小企業の経営課題 ①

- 市場や顧客と自社との関係を理解し対応する

(1)市場や顧客の変化やニーズを把握する

(2)自社の商品やサービスに対する顧客満足度を把握する

(3)顧客の苦情や要望を関係強化につなげる仕組みをつくる

(4)自社の商品やサービスと市場との適合条件を分析して効果的な計画を立てる

# 中小企業の経営課題 ②

- 自社の付加価値を高める

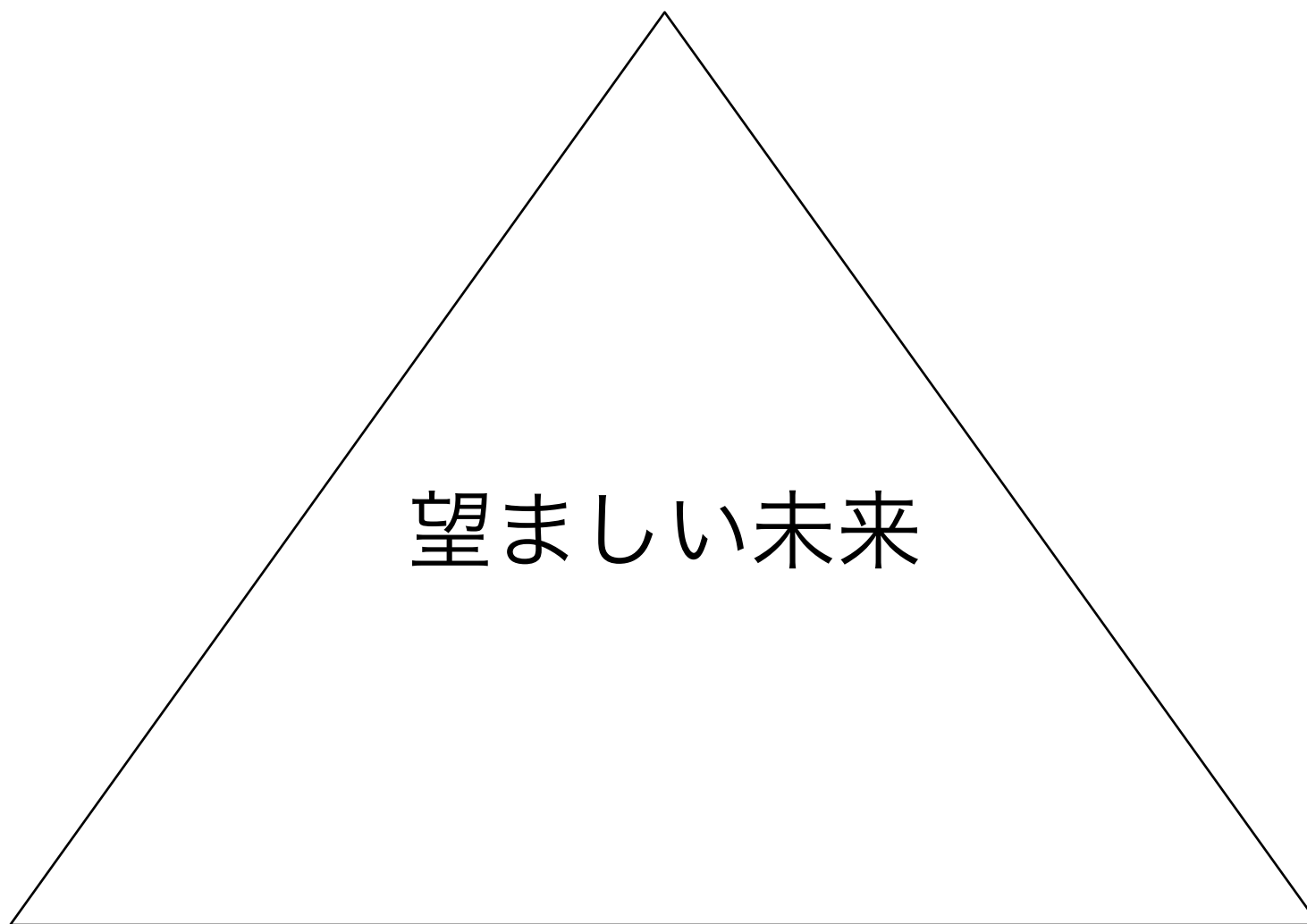
- (1)現場や市場・顧客の声を、製品やサービスに反映する仕組みをつくる
- (2)品質の高い製品やサービスを安定的に生産・供給する仕組みをつくる
- (3)間接部門の業務プロセスが標準化されていない、改善に取り組む
- (4)取引先と、付加価値を高めるための関係強化に取り組む



# よい企業づくり

- 若者と子育て家庭に選ばれる労働環境をつくる
  - 年収400万円以上の給料（30代の正社員）
  - 職場での人間関係や雰囲気が良い
  - 「人を生かす就業規則」
    - よく考慮された労働時間
    - 超過勤務手当が充実
    - 不合理な差別がない
- 労働環境のよい企業を承継する

# 経営変革



中小企業振興基本条例

政策実施枠組  
+ エコミックガートーニング

# 中小企業振興基本条例

- 中小企業の重要性を明言した「理念条例」
  - － 支出や融資の根拠になるものではない
  - － 様々なステークホルダーの役割を規定
  - － 47都道府県、362市 17区 206町 29村（614市区町村）で制定  
(2021年10月現在)
- 中小企業の経営変革をたすける

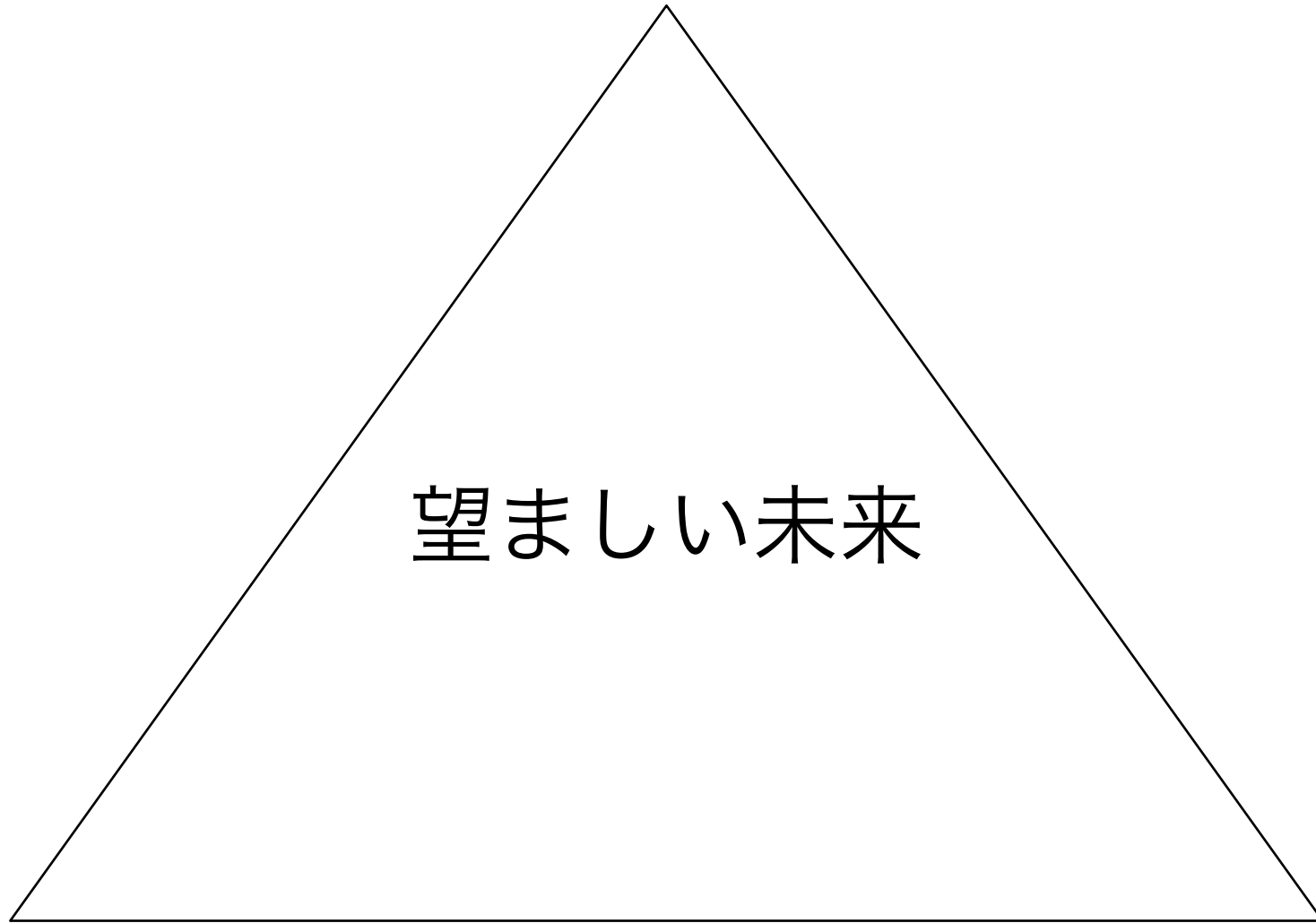
# 「条例は つかって なんぼ」

- （中小企業振興基本条例は）理念ですから、それを行政として方針化して計画的に遂行するまでには、時間がかかります。
- 現状把握から方向性を出し、具体化していくための枠組みが必要です。
- 条例ができて**も具体化していく枠組みがなければ、実際に中小企業の振興をはかることはできない**と思います。

高木亨（前釧路市産業振興部次長）

中小企業家しんぶん 2013.4.25号

# 経営変革



中小企業振興基本条例

政策実施枠組  
+ エコミックガーデニング

# エコノミックガーデニング

進取の精神が旺盛で

価値を生み出す中小企業が

長生きして繁栄するよう、

ビジネス環境を

テーラーメイドで構築する



# 地域經濟**賑**耕



# 先行事例

EG自治体	大阪府 2014年度 静岡県藤枝市 2011年度 徳島県鳴門市 2012年度 神奈川県寒川町 2016年度 奈良県生駒市 2021年度 福島県田村市 2024年度予定
導入可能性	香川県三木町 愛媛県東温市
民主導＋公連携	山武市商工会青年部 2016年度 FIND Chichibu（埼玉県秩父市など）



# 千葉県山武市の取り組み

2013年10月	市役所内でエコノミックガーデニングに関する職員研修
2013年秋～	市長と副市長による市内企業訪問
	商工会青年部と市役所との合同打ち合わせ
2014年4月	山武市エコノミックガーデニング準備委員会 毎月あるいは一月ごと開催 先進地事例の勉強
2016年4月	さんむエコノミックガーデニング推進協議会
2018年3月	山武市中小企業振興基本条例 制定
現在	ワーキンググループごとに活動中

# ビジネス環境を改善する 「情報提供」

- 情報の提供は 公共 の役割
  - 公立図書館との協力
  - 地元金融機関との協力
  - 大学との協力
- ニーズ情報を活かして製品開発・顧客開発しようとする  
意欲と能力のある経営者に特に効果がある

# ビジネス支援図書館

- 藤枝市立図書館
  - ビジネス支援書籍コーナー
  - 新聞雑誌記事・企業情報データベース
  - レファレンスサービスによる情報提供
  - 利用者目線での資料配架

ビジネス支援図書館推進協議会

<http://www.business-library.jp>



# ビジネスコーチング

- **ビジネスセンス 情熱 コミュニケーション力** ある人が  
コーチングとアドバイス
  - ビジネスマッチング (藤枝市)
  - 女性創業相談 (藤枝市、鳴門市)
  - 事業者同士のアイデア創発 (山武市)
  - 積極的な伴走型支援 (寒川町)
  - 「ビジネス・ハブ」でのセミナー (生駒市)

# E Gが成功するために

- 公と民間とが主体的に関わる
  - 経営者による経営変革
- 条例と実施枠組と政策や事業が一貫する
  - 実態に基づき中小企業政策を策定
  - 地元企業が求める情報を提供

## E G 実施上の注意

- 達成に向かうプロセスの中の動きが必要です
  - ガーデニング Gardening という現在進行形
  - 土壌と環境と植物の変化に応じて 耕し続ける
- 即効性を求めない方がよいです
  - 始めてから効果が発現するまでに数年を要するかもしれません



# 連絡先

ytakashi@ner.takushoku-u.ac.jp



エコノミックガーデニング

www.facebook.com/egforjapan

